

【BCP訓練 ACKG 30拠点に対策本部】

BCP訓練

30拠点に対策本部

ACKG

ACKGグループは2日、グループ各社の全拠点で、最大規模の地震を想定した全従業員約1800人の参加による全社一斉防災訓練を実施した。「事業継続計画（BCP）」と初動対応の手順を詳細に定めた「BCP初動対応編」に沿って、「円滑な初動対応の



実践」をテーマに行った。

グループの全国約30拠点に

現地災害対策本部を設置し、

「従業員の安否確認」「初動

対応における役割分担の明確

化」「事業復旧時期の判断」

「従業員の帰宅可否の判断」

「帰宅困難者への備蓄物の配

布」など、初動対応の一連の

流れを訓練した。また、本社

に災害対策本部を設置し、グ

ループ各社の災害対策委員会

から報告される各種情報の対

応・判断も訓練した。

訓練に先立つ事前準備とし

て、発災直後の通信回線の混

雑対策としてPHSを新たに

準備したほか、仮設トイレの

設置やごみの分別ルールを明

確にするなど、BCPを充実

した。

野崎秀則社長は災害対策本

部会議で「今回の防災訓練で

は、テーマとした円滑な初動

対応の実践に一定の成果が得

られた」と評価しながら、

「今後は、今回の防災訓練の

結果を基に幅広く課題を洗い

出し、さらにBCPを充実す

る必要がある。特に、非常用

電源については、より実践的

に使用できるように改善する

と述べた。

同社グループは、今回の防

災訓練で洗い出された課題に

基づき、引き続き確実な事業

継続に向けて行動していく。